



# の が き 野垣あきこ

子ども・暮らし・平和



2024年9月4日 No.196

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

## 区民のいのちと健康を守れ

# 国保料の値上げ通知に1800件を超える問い合わせ

**保険料が高い！ 値上げの根拠は？ 問い合わせ殺到**

今年度の国民健康保険料通知が、6月中旬に国保加入世帯にいつせいに送付されました。党区議団が区に聞き取りを行った結果、この通知に対して、わずか7日間で1831件の問い合わせが寄せられたことがわかりました。問い合わせの半数以上が「保険料が高い」「高くなった根拠は？」というもので、たと区は説明しています。

**負担は年収の15%にも**  
国保料は今年も大幅値上げとなりました。たとえば、年収400万円夫婦と子ども2人世帯のモデルケースの年間保険料は、昨年度と比べ6万6千円値上がり、61万4千円余となり

**東京では財政責任を果たせ**  
2018年度の国保制度の改革により、東京都は「財政責任の責任主体として中心的役割を担う」とされました。しかし、小池都政は区長会などからの財政支援の求めに冷たく背を向け続けるだけでなく、区市町村が国保料値上げ抑制のために行っている一般会計から国保会計への法

ました。年収の15%を占める重い負担です。  
値上げの要因は、国保加入者の減少や高齢化、医療の高度化に伴い、一人あたりの療養給付費が増加したことに加え、東京都の納付金算定方法の変更、国の激変緩和措置の終了によるものです。

定外繰入を廃止するよう迫っています。繰入がなくなれば今でさえ高い保険料がさらに大幅値上げとなります。

### 公費投入し引き下げを提案

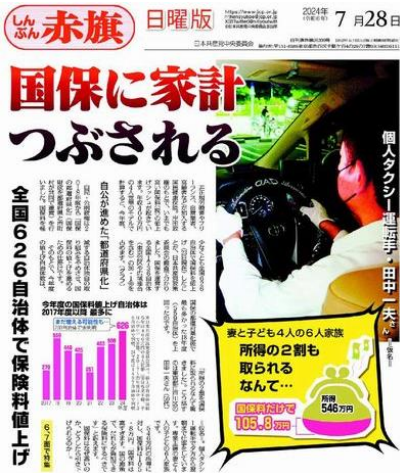
国保料は、会社員などが加入する協会けんぽなどの健康保険と比べると2倍も高くなります。全国知事会などは公費投入・国庫負担を増やし、国保料を引き下げ、ことを国に要望しています。

高すぎて払えない

# 国保料あげるな

日本共産党

## 大竹まことゴールデンラジオ「赤旗」日曜版に注目



7月30日、文化放送の「大竹まことゴールデンラジオ！」で、しんぶん赤旗日曜版(7月28日号)一面の「国保に家計つぶされる」が取り上げられました。

国保について「前から高いなと思っていた」という大竹さん。番組パートナーの小島慶子さんは「全国知事会や全国市長会などは公費投入、国庫負担を増やし、国保料を引き下げ、ことを国に要望しているのになかなか通らないところ、また腹立たしいですね」と語りました。

日本共産党は、1兆円の公費投入増で家族数に応じた「均等割」の廃止、「所得割」を引き下げ、協会けんぽ並みの国保料にすることを提案しています。

# 旧若杉小跡地の未来を考える ワークショップが始まります！

杉並区は、旧若杉小学校校跡地の本格活用に向けて、11月から開催する住民参加型ワークショップの参加者を募集しています。  
**防災、文化芸術の拠点など 住民と本格活用を検討**

杉並区が今年策定した「区立施設マネジメント計画」は、老朽化した施設への対応を検討する際、計画を決める前に住民とともに対話を進めることとしています。

旧若杉小跡地について、区は既存校舎を建替えて活用する方向性を示しましたが、どのような施設にするかはワークショップを4回開催して検討します。町会や関係団体など30名程度で開催する予定で、そのうち20名程度を募集します。

## 住民団体が杉並区に要望

9月2日、近隣住民でつくる区立施設利用者の会は区に対し「旧若杉小学校跡地活用に関する要望書」を提出しました。

内容は、意見聴取を行う区民や専門家の選定基準を明らかにすること、既存校舎の解体まで体育館・音楽室・視聴覚室など現在使用可能な場所の開放を検討することなどを求めています。

## 町会は防災の拠点を求める

地元の町会からは、木密地域の



▲重度心身障害児通所施設わかば

ために防災の拠点や災害時に対応できるオープンスペースに、との要望や、特定の目的のための施設建設は慎重に、という意見もあるそうです。

また、今ある重度心身障害児通所施設わかば等を移転するのか、併設するのも考えていく必要があります。

ワークショップの詳細や申し込みは区ホームページに掲載しています。以下の二次元コードからアクセスできます。



## 弁護士による法律相談

毎週 水・金曜 2～4時半

会場 日本共産党杉並地区委員会

高円寺南3-30-12

電話 03-3314-5551

※予約は必要ありません。当日現地です。



野垣あきこ地域学習会

## どうなってるの？

## 東京の再開発・まちづくり・住宅政策



9/22(日)13時半～

井草地域区民センター

講師 原田あきら都議

参加費無料 終了後は感想交流も！

主催 日本共産党井草下井草支部  
野垣あきこ事務所

## あきこの部屋

大型の台風10号は熱帯低気圧に変わりましたが、関東でも大雨などの被害が相次ぎました。夏の暑さは「観測史上で最も暑い夏」と毎年のように言われ、地球沸騰化に繋がっています。温暖化対策としてはCO2の排出削減とともに、省エネと再エネの推進は当たり前ですが、都会の樹木が政治によって次々に伐採されることも放置してはいただけません。小池都政の神宮外苑もそうですが、大阪でも維

新の会が公園の樹木や街路樹の伐採を公然と進めています。伐採した分は新たに植樹すればいい、緑被率は変わらない、という考え方が日本には蔓延していますが、あまりにも貧困です。海外では土地の面積に対し枝や葉が茂っている部分(樹冠)が占める割合である「樹冠被覆率」が問われます。ましてや森になるまでは何十年の歳月が必要で、時間は人間のみならず、自然環境に対しても有限なのです。